

日清紡ケミカル千葉事業所第二工場完成



日清紡ケミカル(東京都中央区、高橋郁夫社長)が千葉市緑区の千葉事業所内で建設を進めてきた第二工場が完成した。燃料電池セパレーター



山根専門部長

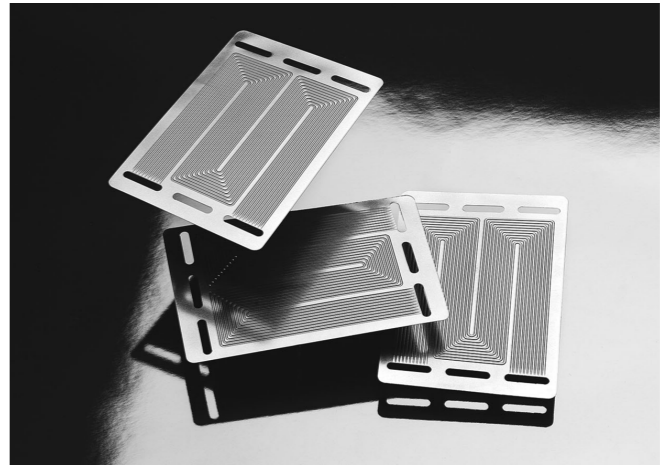


萩原取締役

新工場計画の狙い

第二工場を計画した狙い。燃料電池セパレーターは、自動車用だけでなく、産業用や家庭用など幅広い用途で需要が拡大している。当社が生産する燃料電池セパレーターは、その中でも特に高性能で、長寿命な当社独自の技術により、高効率で生産されている。今回の第二工場は、この高性能な燃料電池セパレーターを生産するための工場として、約100億円を投じた。自動化による連続生産を可能とする第二工場と既存第一工場を合わせて年間1000万枚を生産する体制が整うという。建物の設計と施工は清水建設が担当。最適品質の実現に向けて「システム建築」を取り入れて建設した。

燃料電池セパレーターを量産



カーボン製燃料電池セパレーター

設計コンセプト

本プロジェクトは千葉市緑区の土気工業団地に位置します。既存敷地を造成し別棟で増築した第二工場です。この工場は燃料電池のカーボンセパレーターを製造する工場です。短工期と経済性を実現するためシステム建築を採用しています。

造成計画は搬出入土をゼロにし工場用地の最大化を提案をしました。第二工場の南側には原料調合のための第二附属棟を建設し第二工場棟を含めスムーズな動線計画にしています。

質実剛健、緑の森の中の工場

規模は大きいですが、すべて平屋の建物にしているため土気緑の森に囲まれた静かな工場になっています。

第二附属棟で原料を調合し、第二工場でロボット等により成型、加工されます。生産設備を含めた各室毎の条件に合わせて計画しています。

外装は既存工場と一体的に見えるよう、景観上の統一感を重視しました。内装は生産エリアと事務エリアを明確に分離し、全体をモノトーンの色調でまとめました。トイレ回りはコーポレートカラーをアクセントに演出した空間としました。

第二工場・第二附属棟とも将来実装エリアがありますが、今後の市場変化に合わせてさらなる拡張・活用ができるよう願っております。

システムのポイント

今回の工事では、コンクリートによる設計や素材、生産などをすべてシステム化した「システム建築」を採用しました。このシステム建築では、建築時や作業効率化、時短への取り組みを推進し、所員各自が目標を設定、その達成状況を日常業務や全体工程の進捗に応じて管理しました。その結果、工事期間中に時間外労働時間の上限超過者ゼロを実現することができました。これは、当社支店の現場支援スタッフや品質管理支援部隊、現場業務おまかせ隊の若手社員が快く力を貸してくれたおかげです。彼らの支援と協力には、いへる感謝しても足りないほどです。

今回の工事は、日清紡ケミカル千葉事業所第二工場新設計画。清水建設株式会社が担当。現場業務おまかせ隊の若手社員が快く力を貸してくれたおかげです。彼らの支援と協力には、いへる感謝しても足りないほどです。

Table with project details: 工事名称, 工事場所, 設計監理, 建築用途, 敷地面積, 延床面積, 竣工時期, 建物撮影者.

清水建設株式会社 千葉支店. 施工概要. 電気設備工事. 機械設備工事. 施工協力会社. 建装工業株式会社, 大栄鉄工所, 高千穂鉄筋株式会社, etc.